

郷入方舟

01 里山に拠点をかまえるということ。

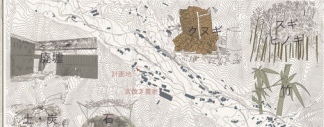
私たちはまず、里山外の人が里山に來ないと
できない事を考えました。外部の人が里山に
行くことで、衰退しつつある里山の美しい
風景を取り戻すことができないかと思ったか
らです。

私たちは、黒川という特別な場所で企業を展
開するマノメイドさん応援しながら、黒川
の持続していくための未来を描きます。



02 黒川の自然と地続きになった拠点づくり。 concept

里山には自然と地続きになった生業が存在しています。そこで、黒川の風景にみられる
素材(タタリアル)をつかった拠点をすることで黒川の人々との境界を穏やかにつな
ぐことを考えました。



本提案の建築の施工・メンテナンスを自然と連続する黒川の谷の延長に位置づけ、様々な立場の人が自分事として里山・プロジェクトに関わることで、自然と個人ではなく、里山単位として占有感がある場を形成します。



摩訶となつてゐる既存の建造物は、建物としての機能は失つていますが、黒川の自然の一部になつたやうな調和を感じました。この歴史を引き継ぎ、黒川に元々が存在しているやうな、そして人の手が加ふことでさらに風景になじんでいくやうな建築を目指しました。

03 炭焼き産業を取り入れる。

黒川の循環系の中心に位置する炭焼き農家の**炭窯**を設け、たった一軒しかない炭焼きを支援します。それによって住民やボランティアの支援を受け、炭焼き農家とマノ・メイドがコラボレーションすることで、外部の人々が黒川の生業に参入しやすく、お互いに利益がある環境をつくります。

大阪大学7領域【設計・企画・施工協力】

案・協力

【メリット】

- ・地域連携した事業が可能（黒川ブランドの商品開発など）
- ・炭焼きボランティアや黒川住民の施工支援を受けやすい
- ・敷地を農地として登録でき

・テナント利益

施工協力 場所の提供
地域住民・ボランティア

04 黒川素材の建築とみんた

黑川宗村・津菜也・伊藤 弘

手伝い **【物える課題】**

人手不足による、輸伐・体験等発信活動・供給等の不足

【メリット】
作業の効率化（安全化）

炭焼き体験等の外部発信用、
育成用の窯として利用可能

作業協力 ↑ ↓ 里山の環境保全
ア【施工協力】

でつくる構造 plan&detail

層相

（木のへぎ板葺き）

狐の家の平面図

狐の家の平面図は、中央に円形の庭園（中庭）があり、その周囲に建物（土間）が配置されています。建物の外周には石垣と土間が設けられ、さらに外周には木製のフェンスが設置されています。建物の内部には、各部屋（和室、洋室、キッチン、バス、トイレ）が配置されています。また、庭園の周囲には石垣と土間が設けられ、さらに外周には木製のフェンスが設置されています。

各部屋の配置：

- 和室（左側）
- 洋室（右側）
- キッチン（上部）
- バス（下部）
- トイレ（下部）

庭園の配置：

- 中庭（中央）
- 石垣（周囲）
- 土間（周囲）
- 木製のフェンス（外周）

スケール：1/100

制作したものをガラスに置くことで
マンモイドの透視が外観に溢れ出す

図中の工場の空間をも
継承したアトリエ

ガラス

アトリエ

風定

事務所

階段

玄関

2 階平面図 1/100

大地と地味に合うようシロロイは四角きを避けて
地域にひかれていきます。

黒川に根を張るようしつづてえ木の構造を造
内と外を暖やかにつなぎます。

04 黒川素材の建築とみんなでつくる構造。

[illegible]

This architectural section diagram illustrates the 'Wind House' (風の家) and its relationship to the surrounding environment. The diagram shows a cross-section of the building with various internal spaces and a large wind tower (風家) on the right. Wind flow is indicated by arrows and text labels:

- Top Left:** トップライトから落ちた光がバルコニーを照ってやわらかく照り返す (Light falling from the skylight softly illuminates the balcony and reflects back).
- Top Right:** 風流によって室内全体の風の流れをつくって、換気を促す (Wind flow creates the air circulation throughout the interior, promoting ventilation).
- Left:** 東山の風景が広がるアトリエ (Atrium with a view of the landscape of Higashiyama).
- Center:** トップライト (Skylight), バルコニー (Balcony), アトリエ (Atrium).
- Right:** 風家 (Wind House).
- Bottom Left:** プラス (Plus), 仕事場 2 (Workshop 2).
- Bottom Center:** ズレによって上下階のつながりを生む (Misalignment creates a connection between the upper and lower floors).
- Bottom Right:** 仕事場 1 (Workshop 1).
- Far Right:** 44m (高さ), 15000 (坪数), 171.00m (坪数), 171.00m (坪数).
- Bottom:** 大光から地蔵堂にのぼり上る石段 (Stone steps leading up from the main hall to the Jizō-dō).
- Bottom Right:** AA 建築計画 1/100 (AA Architectural Planning 1/100).

図3-10 風の家

1/100

広々とした木の工事は、自然を感じさせます。

黒川の影響や光、風などの

大地と地殻さになったピロコティは炭焼きを通して地域にひろがれています。

黒川に根を張るようにしつらえた木の構造体が内と外を緩やかにつなぎます。

広々した木の工房は
自然を感じさせます

川の景色や光・風など